

翠玉の欠片



翠玉の欠片



君にねだって奪った
半ば強引に片が
翠玉の欠片が
固く閉ざした
扉を開けた

モニターに映る
もうひとつの欠片は
君宛てのもので――

ごめん……

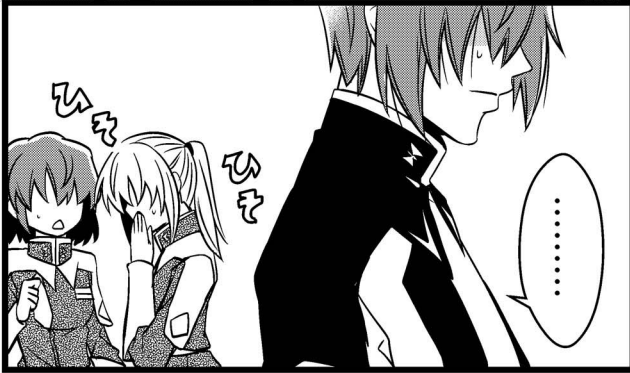
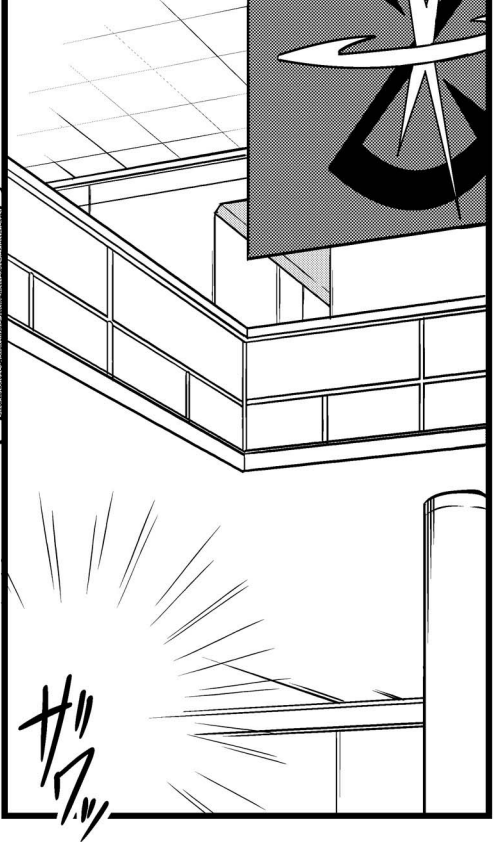
ごめん
なさ……っ

どこまでも
欲張りな僕は
開けてしまった
後悔と一緒に



飲み込んで
しまおうかと
一瞬考えた……

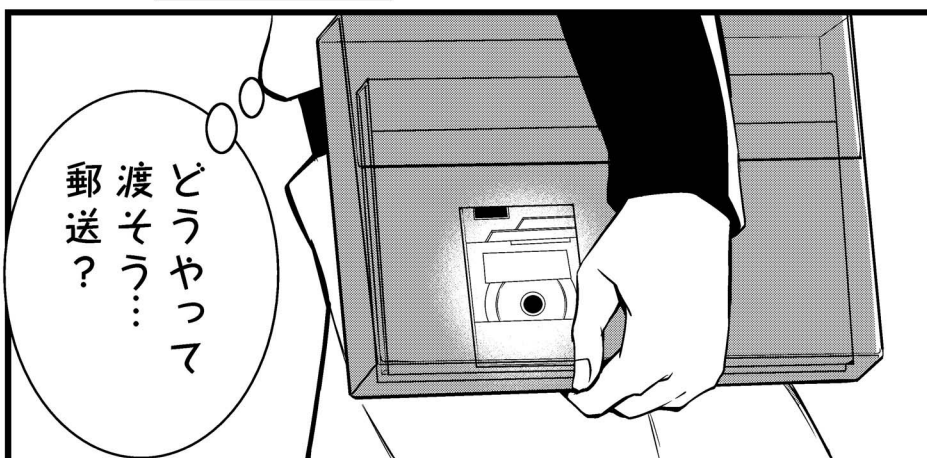






とにかく早く
渡さなければ
ならない…

まあいいや
急がなきゃ…



どうやって
渡そう…
郵送？

これは
僕が持つてて
いいものじゃない



いやー
直接渡して
ちゃんと謝ろう…





—で



あ…



アンタ何処で
遊んできたんだっつ!!!



えええ!?